



Mutual Trust

奉仕の感動を分かち合おう。

ロータリー 理解推進月間

ロータリアンの絆

ロータリー100周年が過ぎて、「超我の奉仕」のロータリーは歴史的事実、組織の規模が他とは比較できない素晴らしい私たちのロータリー。

今月はロータリー理解推進月間です。“ロータリーとは”をひとりで言い表そうとしても、先人先輩諸氏の言葉をもって出来ない。ロータリーをより以上知りたい、また伝えたいと考えることは、私たちロータリアンが如何にあるべきかが第一であると思います。

ポールP・ハリスという一人の人間の夢から出発したロータリー。ロータリアンは心をつなげて手を携え、互いの夢を現実のものにすべく想を練っている建設者であり、夢でも心をつなげている。でも単なる夢想家ではない。ロータリアンは社会の心配事で心が結ばれているのである。

そのロータリアンに期待する課題は ロータリアンはロータリーを真の意味で理解しているであろうか。

会員一人ひとりがロータリーへの真の理解をさらに深めるべき知識としてのロータリーを詳しく知っていても、真にロータリーを理解しているとは言えない。ロータリーのサービス活動の現状を具体的に知っているか

会員一人ひとりがもっとロータリーのサービス活動の認識を深め共有するよう努める。ロータリーは今のままでよいのだろうか 会員一人ひとりが社会的な諸問題の現実をよく認識し、これらに対するロータリーのサービス活動の現在及び将来のあり方について、なお一層の検討と対応のための取り組みを始めよう。

「世界は常に変化している。ロータリーはこの世界の変化とともに変化し成長して行かねばならない。ロータリーの物語は、幾度も書き換えられなければならない」とポールP・ハリスが、ロータリー創立後30年が経過した時点でスピーチされている。

ロータリー情報委員長 清水 慶造 (福井RC)

いつの時代にも、その時代の新たな問題があります。どの世紀にも人類の現状を向上させたい、人助けのために自分の時間と専門技能を捧げたいと望む人がいます。この人達はロータリアンと呼ばれることでしょう。

ロータリーのプログラムは必ずしもクラブのためのものではありません。ロータリアンがクラブの活動のほかに行う奉仕と親睦のいくつかの機会を提供します。

ロータリー情報には、ロータリーの歴史的事実や過去の規模に関する各種のデータなど、固定的な部分と、ロータリーとその活動の今後の発展や展開にかかる情報、管理運営の部分、新規のプログラムやプロジェクトなど流動的な部分があります。いずれにしても、その内容を知識として蓄積することだけではロータリー情報に

通暁しているだけである。そこに内蔵されている考え方、ロータリーは何を考え何をしようとしているのかを真に理解することが肝心です。ロータリー情報は知識ではなく考え方の問題が大切であります。またロータリー情報の提供や、その周知徹底をはかるための手法に関する情報も含まれています。

ロータリアン同志の絆を強くするのは、ロータリーには常に素晴らしい情報があるからです。ロータリアンはロータリーを大いに語り、ロータリーの心を伝えよう。地域の人々と地域にも絆が生まれる。そんな絆を大切に大きく強くしようではありませんか。

ロータリアン一人ひとりが率先して

李氏を2008 - 09年度RI会長ノミニーに正式指名

(『友』インターネット速報 No. 263 (2006.12.12) より)



12月1日までに対抗候補者の申し込みがなかったため、ウィリアム B. ボイド国際ロータリー (RI) 会長は、ロータリー財団管理委員を務めるソウル漢江ロータリークラブの李東建氏を、正式に2008 - 09年度RI会長ノミニーに指名しました。選挙は2007年ソルトレークシティ国際大会で行われます。

ソウルにある製造会社、ブバン株式会社ならびにブバン・テクロン株式会社の会長を務める李氏は、ソウル銀行の理事を務めた経歴の持ち主です。2005年には、韓国大統領によって国際親善大使に任命されました。また、1994年以来、韓国のイタリア領事館の名誉領事を務め、韓国政府から金塔産業勲章も受賞して

います。李氏とヨン・ジャ夫人には、2人の息子さんと2人の娘さんがいます。

1971年にロータリアンとなって以来、李氏はRI理事、財務長、ガバナー、研修リーダー、ロータリー財団地域コーディネーター、アジア担当会員増強実行グループ・コーディネーターを歴任し、RIに貢献してきました。2003 - 04年度からロータリー財団管理委員を務める同氏は、ロータリー財団功労表彰状を受けています。

「農業体験学習・イモ掘り」

クラブ広報委員長 藤野 好 (京都田辺RC)

10月28日(土)に京田辺市の新幼稚園園児を対象に、「農業体験・親子でイモ掘りを楽しもう」を社会奉仕委員会・新世代委員会合同事業として実施しました。

秋晴れで、すがすがしい時期に園児が(57名)お父さん、お母さん(70名)と一緒に、総人数188名に参加していただき、農作物の栽培と土のにおいと収穫の喜びを感じ取っていただく機会を提供しました。大きな薩摩芋を掘り起こして歓声を上げて喜ぶ

園児を見て次年度も続けて行こうと会員も心に打たれました。

今回の事業は市内の各幼稚園を対象に三年目を迎えました。京都田辺ロータリークラブの大きな事業の柱に成りつつあります。

参加してくれました園児達には画用紙に絵を描いて出品いただき、展示会を開催して市民の皆さんに見ていただく予定です。



重要文化財 称念寺境内をきれいにしよう!

クラブ社会奉仕委員長 野尻 昇 (丸岡RC)

丸岡町の財産であり「新田義貞の菩提寺」である称念寺が秋になり落葉で荒れ放題になっています。

『重要文化財 称念寺をきれいにしよう!』と社会奉仕委員会が企画いたしました。

11月19日(日)9時30分より雨にもかかわらず、会員15名が集まり、熊手や竹箒で境内内を清掃しました。

清掃後は称念寺に収められている重要文化財の数々を見せていただき、貴重な財産が身近に残っていることを改めて勉強し、今後も称念寺の重要文化財を守っていかねばならないと思いました。



平井ガバナー来幡
奉仕プロジェクト「みんなで行動しよう！びわ湖を守るために」 ワタカの放流

クラブ会長 皆黒 幸男
クラブ広報委員長 小西 眞 (近江八幡RC)

近江八幡ロータリークラブでは、十数年来、毎年「琵琶湖の環境保全」をテーマにして奉仕活動を続けています。今年度も11月12日(日)国際ロータリーのテーマである「水保全」をテーマに、西の湖・北の庄沢の水郷地帯で奉仕委員会が協同で地域や在留外国人の子ども達と「緑の少年隊」の子ども達約50人と共に、近江八幡RCと密接な関係にある「近江八幡ロータリー地域社会共同体」の皆さんにも参加して頂き奉仕プロジェクト「みんなで行動しよう！びわ湖を守るために」を実施しました。当日は朝から北風と冷たい雨のあいにくの天気でしたが近江八幡市の川端五兵衛市長、平井義久ガバナーにも早朝より参加して頂き、子どもたちと一緒に平井ガバナー、皆黒会長をはじめ会員が4艘の放流船に分乗し県水産試験場より提供された約3000匹のワタカの稚魚を放流しました。そのあと、子ども達は水辺のJAグリーン近江の施設をお借りして放流船から採水した琵琶湖の水の水質検査を実施し水汚濁やワタカなどの魚類についての学習をしました。冷たい雨や風の中での学習会でしたが子ども達にとっては忘れられない自然学習会であったと思います。平井ガバナーには寒いなか早朝よりありがとうございました。今後も当クラブは「琵琶湖の環境保全」をテーマに活動を続けていきたいと思ひます。



「中国大連市第三十七中学生招聘事業を振りかえり」

クラブ会長 畑 東海男 (舞鶴東RC)

舞鶴東ロータリークラブと中国大連市人民政府外事弁公室の間で、両者の友好関係を発展させ相互交流と協力を深めることを目的として、大連市内に在学中の日本語を学ぶ学生に対し奨学金を贈与する活動が1990年に始まりました。契約期間は5年、送金というかたちで進められました。1995年の契約更改の年に、対象を明確にし更に発展させていくために大連市を訪問、幾つかの学校を訪問する中で、大連市第三十七中学校に的を絞り、日本語を選考する生徒を支援する活動を続け、毎年大連市を訪問するようになってから足掛け9年の歳月が流れました。2006年5月に大連市を訪問、これまで奨学金を贈呈した第三十七中学日本語選考生徒の日本国・舞鶴市への訪問を招聘し、日本に対する理解を深め、両者の架け橋となる人材を育成し友好の絆を深めていきたいとの協議を行い、実現するに至りました。幾多の手続きを終え2006年9月20日から24日まで今年度のメイン事業として「和」と「絆」を実践すべく、会員に対しては色々なかたちでの参加・協力をお願いし受け入れ準備を進めました。9月20日、大連発9時10分〔中国国際航空151便〕、開空着12時20分、出迎えの為早朝より舞鶴を会員数名と共に出発、準備万端整っているというものの、彼らは本当に来るのだろうか、当事者としてはほんの少し不安に思いながら関空に向かいました。飛行機は1時間程遅れ到着、彼らの顔を見たときはホッとしたと同時に「さあこれからが大変だぞ」と新たに気持ちを締めました。三十七中学校より生徒5名〔男子3名、女子2名〕、校長先生〔女性〕、副校長先生〔女性〕そして大連市人民政府外事弁公室〔女性〕から1名と総勢8名の来訪である。チャーターしたバスに乗り込み一路舞鶴へ、皆疲れも見せず元気である。途中軽い昼食と考えてドライブインに寄るが、全員お腹が空いていたのかシッカリとした昼食となる、彼らのよく食べる。中国語日本語混在しながらの約

3時間の行程である。大連市人民政府外事弁公室の女性を除いて、全員国外へ出るのは初めてである。短時間の日本の印象を聞いてみると、空港の雰囲気は沢山の人がいるのに静かである。そういえば、人ごみで中国人の会話を聞いていると、男女とも大きな声で、まるで言い争っているように聞こえる、そういう意味ではウルサク感じる。きれいで清潔、埃っぽくない。そういえば建物の中はゴミもなく清潔である、日本人は綺麗好きである、中国の空は何時も黄砂に蔽われ青空を見たことがなく埃っぽい、この日は天気もよく青空に緑が映え、私自身も美しく感じた。次に小さくてかわいい。はじめ何の事が解らなかったが、建物の事と解った。大阪の都心を抜けてきて、大連の高層ビルの立ち並ぶ様子はとても比喩物にならない。それ以上に、車中から見える住宅にいろいろな形があり、それが美しく、かわいく映った様である。短時間の間によく観察しており、改めて日本の良さを彼らに教えられた感がありました。夕方6時舞鶴へ到着、ホテルではロータリー会員の出迎えをうける。この日一晩、生徒たちはホームステイをすることになる。ホームステイ先の会員に紹介、暫し会談、生徒たちは直ぐに打ち解け何ら心配はない。

むしろ校長、副校長先生お二人が心配で落ち着かない様子であるが、会員の対応を見ていて安心したようである。その夜校長、副校長、外事弁公室の女性を食事に招待、日本座敷、日本食を楽しんで頂く。先ほどの、生徒達のホームステイの不安と心配は何処かへ飛んでしまったようである。翌21日9時、生徒達はホームステイ先よりホテルへ集合、夫々楽しかったようで元気をを見せてくれる。日本の第一印象の通り、家の中も綺麗だったと聞かせてくれた。冷蔵庫の中身に興味を持った子が、言い出さなくて残念と言っている子もいた。午前中は企業訪問でユニバーサル造船所を訪問、船の造られていく様子を見学。しかし規模からいく

と大連市の港、造船所の規模は舞鶴の規模の十数倍、あまり驚かなかったようである。さもある、私自身も何かが見たが大連港は桁が違う。しかし目に見えない、技術力は日本が勝っているが、彼らに其処までは理解できなかったと思う。その後、舞鶴湾が一望できる五郎ヶ岳展望台へ。この日も晴天、空の青、海の青、山々の緑、この風景は大連ではめったに見ることは出来ない、皆この景色には感動したようで写真を撮りまくっていた。午後に入り若浦中学校を訪問、一行が到着すると、全校生徒が拍手で迎えてくれた。生徒会長が「ようこそ、小さな学校ですが、良い思い出にしてください」と挨拶。第三十七中学生徒代表の張陪さんから、日本語を交えながら「皆さんと仲良くなるのが、両国の友好交流につながると思います」と答えた。若浦中学校の生徒らが和太鼓の演奏で歓迎すると、張陪さんはピアノ演奏を披露して答えた。

その後英語の授業に参加したり、生徒会役員との交流会に参加したりして有意義なひと時を過ごした。面白かったのは、若浦中学校の生徒が恋愛話について質問したとき「それは禁止されている」との答えにびっくりした反応をしたことである。確かに日本と中国の間には教育に関する取り組み方に差があるようで、中国では今勉強至上主義的なところがあるようである。これは一人っ子政策、或は膨れ上がる人口増加の中で競争に打ち勝たなければならない国情があるからかもしれない。かといって、今回招聘した生徒たちは、いずれも非常に素直で好感のもてる子供たちばかりである。中学校訪問の様子は、朝日新聞、京都新聞、舞鶴市広報、舞鶴市民新聞等報道関係も取材、新聞紙上で好意的に紹介してくれた。その後舞鶴市役所へ市長表敬訪問、舞鶴市と大連市は友好姉妹都市ということもあり、お土産交換を交えて暫し歓談、因みに中学生の舞鶴訪問は今回はじめてということもあり、予定

時間を大幅に超え、市長も子供たちと楽しそうに対応してくれました。

その後夕方6時より、舞鶴東ロータリークラブ例会にそして歓迎レセプションに出席、長年、我々が大連市訪問しながらの奨学金贈与であった為、全会員がその様子を理解しているとは言えなかったが、今回初めてその姿を見、理解を得ることが出来クラブ会員全員と親しく交流のひと時を過ごしました。中学生ということもあり、アルコールは一切なし、しかしながら日本語中国語交えながらの交流風景は微笑ましいものであり、何よりも子供たちが物怖じしない振る舞いは感心させられました。この日はハードスケジュールで緊張の一日であったのか、訪問団一行は多少お疲れ様、8時30分過ぎには閉会、明日のスケジュール確認して各々ホテルの部屋に引き上げました。翌22日は舞鶴市内の防災センター、病院等公共施設を見学、夕方大阪へ向かい、翌23日ナショナル・パナソニック館等の企業訪問、大阪歴史学習後、夕方京都に向かい翌日24日は京都歴史学習、ハードなスケジュールであるが、皆元気で行く先々熱心に写真を撮ったりメモを執っていました。

この日まで我々の招聘事業としての責任を果たし。翌25日から東京に独自行程で向かい28日に成田空港より大連に帰国しました。25日から28日まで、毎日電話連絡が入り無事であることの確認、そして28日大連に帰国の連絡が入るまで気の抜ける時はなく疲れはしましたが、非常に有意義な一週間であり、私自身も多くのものを学ぶことが出来ました。日本と中国の間には、特に政治的な部分では多少の行き違いがありますが、若い彼らが今回の経験を生かし、日本に対する理解を深め架け橋となる人材になってくれること、友好の絆を深めてくれることを心より念じながらの、招聘事業であったことを報告いたします。



中国大連市第37中学生代表挨拶



英語の授業に参加



舞鶴東ロータリー・クラブ歓迎レセプション。答礼！



舞鶴市立若浦中学生による和太鼓の演奏で歓迎



舞鶴東ロータリー・クラブ歓迎レセプション。バナーを記念に！



ホテルの玄関にて記念写真！



和太鼓の演奏に拍手をおくる大連市第37中学校の一行(前列)＝舞鶴市大波下で

大連の中学生と交流 舞鶴・若浦中
中国・大連市の第37中学校の校長や日本語学科の学生代表らが21日、友好都市である舞鶴市の市立若浦中学校(164人)を訪れ、生徒らと交流した。大連市で日本語を学ぶ一行が若浦中に到着すると、余校生が拍手で迎えた。生徒達の大森太郎君(9年)が「ようこそ。小さな学校ですが、良い思い出にしてください。あいさつ。第37中学校学生代表の張陪さん(15)は日本語を交えながら「みなさんと仲良くなることが、両国の友好交流につながると思います」と答えた。若浦中の生徒らが和太鼓の演奏で歓迎すると、張さんがピアノ演奏を披露。英語の授業を見学したり、生徒会役員との交流会に参加した。

青色パトロール隊プロジェクト

クラブ広報委員長 松井 米藏 (王寺RC)

一昨年の暮れに発生した小学生の誘拐殺人事件は卑劣な凶悪事件として全国に大きなセンセーションを巻き起こしました。そして先日犯人の死刑が確定したところです。その後当該地域におきまして子供達の安全に対する不安が持ち上がり社会問題となっています。自分達の地域は自分達で守ろうという主旨から当ロータリークラブでは警察当局と相談し、クラブ全員でこの防犯活動を広げようと社会奉仕委員会と青少年新世代委員会の合同で奉仕プロジェクトとして全員参加で立ち上げました。

まず会員が資格に必要な講習を受け西和警察署より5台の青色防犯パトロールカーの認可を受け、5班に分かれて11月14日から来年6月26日迄小学校の登下校時に合わせてパトロールを実施しております。写真はその出発式の様子で奈良新聞にも報じられました。

地域社会の安全と安心に大きく役立ち、ひいてはロータリークラブの活動が住民の方々に理解していただく意義は大きいと広報いたしております。



身体の不自由な人達と交流

クラブ広報・雑誌・図書委員長 ^{たぶ} 榎 泰幸 (奈良西RC)

奈良西ロータリークラブでは12月9日、奈良市奈良阪町の社会福祉法人「中川会」(安井清悟理事長)で開かれたクリスマス・パーティーに参加し、施設利用者たちと交流するとともに設備寄贈の目録を贈呈して激励しました。また部屋を見学して利用者とも対話し、生活に直に触れました。

午後2時に始まったパーティーには、主役の身障者たち約70人をはじめその家族や職員、奈良西ロータリークラブメンバーも交えて約150人が出席し、奈良新聞も取材に駆けつけました。

主宰者挨拶の後、お楽しみのパフォーマンスに移り、琉球舞踊

が行われて、民俗衣装をつけた7人が、宮廷と庶民の踊りを次々に披露しました。利用者たちも不自由な体にも負けないで元気に歌い、楽器を懸命に演奏する姿が印象的でした。会場は一体感にあふれ、盛大な拍手がわき起こり、約3時間にわたり熱のこもった交流が続けられました。私どもが声を掛けたのに対して、手を振るなど全身で応えてもらったのには感動しました。この活動に対して、安井理事長から奈良西ロータリークラブに感謝状をいただきました。



「心の絆コンサート」開催

クラブ幹事 北村 公史郎 (びわ湖八幡RC)

日時 平成18年11月12日(日)

13:00~16:40

場所 近江八幡市文化会館

主催 びわ湖八幡ロータリークラブ

後援 近江八幡市・竜王町・安土町各教育委員会

我がクラブのテリトリー内の中学校・高等学校の吹奏楽部による演奏会を各教育委員会の後援を得て、また、近江八幡吹奏楽団の賛助演奏の協力により、盛大にとりおこなう事が出来ました。

吹奏楽の盛んな学校もあれば、そうでない学校もあり、当初、演奏の場を提供しようという発想から始まりました。昨今、地域や家族のあいだの絆が薄れてきているのではないかとされる社会現象を、目や耳にすることが多く、地区においては、「絆」をテーマとされており、この絆を深めていくために、コンサートを実施しようということに、趣旨は膨らんでまいりました。家族の絆にとどまらず、地域と高齢者、外国籍の方、障害をお持ちの方などと音楽を通して、絆を深めるべく、多方面に働きかけ、多くの方にご来場いただきました。

当日は、平井ガバナーのご臨席の中、朝から断続的に雨降る天候にもかかわらず、延べ900名に及ぶ人々で会場は埋まりました。演奏者と聴衆が一体となって、練習の成果が十分に発揮された演奏を楽しみ、素晴らしい時を共有することが出来ました。



幼児に感動と心に響く体験を.....

幼稚園児に成長の喜びを体験していただくよう!

クラブ新世代委員長 萩原 芳明 (桜井RC)

桜井ロータリークラブは、幼稚園児と地域の高齢者との交流の架け橋をいたしました。

昨年度は「幼児に感動を、学生には奉仕の精神を」をテーマに農業大学生と幼児の交流の架け橋事業を行いました(詳細は昨年度ガバナー月信11月号を参照)が、CLP導入による継続的奉仕事業として、新世代委員会、幼稚園教職員、幼稚園児父母、地域の老人会と「新世代のための会議」を開き、本年度は架け橋事業の第二弾として、地域の高齢者と幼児の交流、ふれあい体験を通じて、幼児に感動と体験を.....成長の喜びを感じて頂く事業を計画実行いたしました。

幼児、教諭、ロータリークラブは、地域農家のおじいちゃん達に大根の栽培方法を学び、九月初め、おじいちゃん達の指導の下、幼稚園菜園に種を蒔きました。園児たちは毎日のように水をまき、草をひき、熱心に手入れを行ってくれました。やがて小さな若葉が土から芽を出し、日に日に大きくなる様に、植物の成長を感じ、生命の不思議さに感動してくれたことと思います。

いよいよ、収穫の日。11月22日に、園児たちと教諭、父兄、老人会の皆様、ロータリアンが集まり、大根の収穫を行いました。土の中から白く長い大根が現れる度に歓声がおこりました。また、採れた大根を材料に「大根の色ご飯」を作り、皆で食事を行いました。園児たちからは、収穫の感謝と、お世話になった方々への御礼が述べられ、この体験は、心に残る思い出となったと感じています。

更に、幼稚園の飾花として、園正面玄関沿いの「幼稚園花壇」に秋に球根を蒔き、園児たちが卒業する春にはきれいな花が咲くように関係者一同で整備も行いました。

この奉仕事業は、高齢者と新世代の交流を通じ、幼児の情操教育の一助になればとの思いです。



インターアクト地区大会

インターアクト委員長 玉井 公詞 (京都伏見RC)

国際ロータリー第2650地区インターアクト地区大会が古代、古(いにしえ)の都大和の国・明日香村に於いて、檀原RCご提唱の檀原学院高校 I. A. Cのホストにより11月25日(土)26日(日)に盛大に開催されました。その模様が27日(月)の奈良新聞に大きく報道されました。

前夜祭は檀原学院高校の吹奏楽部による、ウェルカムミニコンサートでオープニングされ、曲目はプラネタリウム・チェリ、中でもキヨシのズンドコ節では、リーダーが会場一杯の参加者に振を何回も指導、マスターしたところで本番、又優しい心遣いからロータリアン向けに、暴れん坊將軍、水戸黄門のテーマソングには自然と手拍子が弾み、実に楽しい一時を過ごさせて頂き感謝一杯です。夕食後は各グループに別れクイズ大会等、親睦の輪を広め友情の強い絆を結ぶ事が出来ました。

本大会では、川端美穂菜 檀原学院高校インターアクトクラブ会長の開会点鐘、開会宣言、歓迎の挨拶が有り、大久保昇地区新世代担当諮問委員直前ガバナーの素晴らしいご挨拶等のセレモニーが有り、記念講演では「古代との絆 飛鳥の歴史と特別立法から学ぶ」と題して明日香村村長檀原RC会員の関義清様よりロマン溢れる明日香村についてお話を伺うことが出来ました。

奈良盆地の東南部に位置し、飛鳥時代「推古天皇の間約100年」明日香豊浦の宮 奈良平城京 日本の政治文化の中心として栄えた地域で他の古都(京都)と比べ異なった状況にありそれは全村が歴史的風土地域に入っていると云う事、日本の心の故郷と云われる様に、ほとんどが田園地域であり歴史的遺産と自然環境が不可欠の関係にあり、もうひとつの特徴は見える遺産が数少ない事が挙げられ、見えない潜在的遺産が数多くある事です。全村丸ごと博物館構想を打ち出され、全村世界遺産と云う大きな夢の実現に向け努力をされています。

昼食後 明日香村散策に大型バス4台に分乗、石舞台古墳、県

立万葉文化館を訪れ案内図版で大和三山、畝傍山、天香具山、耳成山、いずれも標高200mに満たない小さな山ですが、奈良盆地にぽっかりと浮かぶ神話と伝説が残されている美しい山々です。散策から帰り、アクター達は全体会議において各班長よりそれぞれ発表がなされ、記念講演が素晴らしく、文化財の大切さを体験し又それを守る事の大事さを強く感じました。そして日本の古都に住んでいる事を誇りに思い世界に向かって大きくアピールしていきたい、観光地として京都との比較なども報告されました。

檀原学院高校インターアクトクラブは、檀原RCの創立10周年記念事業として提唱されたクラブです。来年RCが50周年、インターアクトクラブが40周年をお迎えになり、素晴らしい事です。心よりお祝い申し上げます。

後になりましたが、この大会に向け檀原RC、檀原学院高校、檀原学院高校インターアクトクラブの総ての方々の全力をあげて超我の奉仕により素晴らしい捻り多いインターアクト地区大会が出来ました事、深く深く感謝申し上げます。次年度は福井RCご提唱の福井精華学園啓新高校のホストで福井の地で開催されます。地区最大の行事です。全員参加の程宜しくお願い申し上げます。



「例会について一言」

ロータリー情報委員会 芝野 桂太郎 (大津RC)

例会で出合いがあり、多くの友が出来る。ロータリーのバッジのお陰でどんなに偉い人でも、世界中何処へ行っても、誰にでも気安くお付き合いが出来ます。週に一度は多くの友達に会えて親交が保てるのはロータリークラブだけです。

ロータリークラブは出合いの架け橋です。橋にちなんだ私の好きな言葉を紹介します。「橋は違った世界を結ぶ。人は皆、橋を架けて生きています。橋あって、縁あって、出合いがある。橋架けた人、縁結びをしてくれた人に感謝」

このように、人は自分で生きているのではなく、人に生かされているのです。

人間は社会の中でしか生きられません。我々個人の財産ですら社会が決めています。世間の相場。人は物心とも社会の中でしか生きられない存在です。従って人は自分のことだけでなく、他人のために尽くす事によって、初めて自分の幸せを得ることが出来るのです。ロータリー活動の基本が例会です。そしてロータリアンの基本的な義務は例会出席です。ロータリーの活性化の基も楽しい例会です。それも楽しい雰囲気の中でも筋を通した厳しさのある例会です。これが100年間受け継がれてきたロータリーの伝統です。ご参考に米山梅吉氏の「例会について」を紹介させていただきます。「例会に出席する事によって、奉仕の心が育てられる。例会の一時間は楽しみながら訓練を受けるというロータリー独特

の集会である。例会なくして交わりなし、出席は心の交わり、出席は喜びの出会い、出席は記録をつくる為でなく、人をつくる為、あなたの出席を喜ぶロータリアンがいる。」ところが最近例会出席の重要さの認識が薄れ、出席率100%を維持できるクラブもごく僅かで、殆どどのクラブは90%以下です。

例会の時間は食事時間をいれて僅か一時間です。メーキャップの猶予期間が14日もありメーキャップ後は出席率100%の達成は困難な事ではないと思います。

他のクラブを訪問することで出合いがあり、勉強にもなります。歴史と伝統のあるロータリーの品格を維持する為にも会員としての義務を全員がはたさなければならないと思います。平井ガバナーもロータリアンの品格はもとよりロータリーの品格があってこそ新しい仲間を増やす事が出来るといわれています。

地区ロータリー情報委員会で懸念している事は例会出席時間の60%ルールで途中退席が常習化しています。さらに例会日時、例会場を変更してもメーキャップ受付の無い場合も少なくないようです。会員増強のためとは言え、推薦者が厳しい事を言えば入会拒否される事を恐れて新会員に規則の十分な説明やその他の情報を提供していない為に後で問題がおきる場合があるようです。いかに規則が緩和されてもロータリーの基本である例会出席の義務を果たすべきであると思います。

京都南部地区RYLA

新世代・RYLA委員長 吉川 裕文(京都洛西RC)

11月18日(土)・19日(日)京都府八幡市の石清水八幡宮青少年研修センターにおいて京都南部地区RYLAを開催いたしました。

34名の受講生(男性14名・女性20名)は、音楽療法士の荒井敦子先生、石清水八幡宮の田中宮司そして元ラグビー日本代表の林敏之先生の講演というカリキュラムでRYLAのセミナーを体験いたしました。

この研修を通じて感動と夢が生まれ、未来へ羽ばたいていただく礎となったことと確信いたしております。



滋賀地区RYLA

新世代・RYLA委員長 吉川 裕文(京都洛西RC)

11月25日(土)・26日(日)滋賀地区RYLAを彦根で開催いたしました。受講生20名(男子14名・女子6名)の参加で、彦根城博物館のホールにて中原藤子先生の講演、狂言の体験学習を行いました。夕食後の懇親会では滋賀北部地域のローターアクトの皆さんと共に楽しいひとときを過ごしました。翌日は、龍潭寺で坐禅体験と法話を聞かせていただきました。

今回のRYLAを通じて地域への社会貢献と新世代のリーダーとして、仲間同士やロータリアンとの深い「絆」を結び未来へ羽ばたいていただく礎となったことと確信いたします。





Mutual Trust
奉仕の感動を分かち合おう。



Mutual Trust
奉仕の感動を分かち合おう。

福井県 (19クラブ)

クラブ名	10.31 会員数	入会	退会	11月 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会	出席率	女性 会員数
福井	121	2	1	122	119	9	6	4	86.57%	2
福井あじさい	52	0	0	52	49	3	0	4	77.00%	3
福井東	40	0	0	40	41	0	1	4	81.04%	0
福井北	117	1	0	118	107	12	1	5	88.19%	5
福井南	72	0	0	72	71	1	0	4	79.00%	0
福井フェニックス	47	0	0	47	46	1	0	4	73.91%	0
福井水山	53	0	0	53	53	0	0	4	71.23%	10
福井水山	33	0	0	33	34	1	2	4	71.00%	3
勝山	28	0	0	28	28	0	0	5	87.14%	3
丸岡	37	0	1	36	36	2	2	5	90.17%	0
三国	44	0	0	44	44	1	1	4	87.81%	2
大野	39	0	2	37	37	2	2	3	79.30%	4
大野	53	0	0	53	52	1	0	3	95.83%	2
鯖江	35	1	1	35	35	1	0	5	87.80%	0
鯖江北	35	0	0	35	35	1	2	4	76.23%	2
武生	66	0	0	66	67	1	2	4	94.99%	0
武生府中	54	0	0	54	54	1	1	5	75.56%	0
敦賀	29	0	1	28	29	0	1	4	83.04%	3
敦賀西	40	0	0	40	37	3	0	4	99.34%	0
若狭	40	0	0	40	37	3	0	4	99.34%	0
小計	1,005	4	6	1,003	986	39	22	平均 4.1	平均 83.43%	42

滋賀県 (22クラブ)

クラブ名	10.31 会員数	入会	退会	11月 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会	出席率	女性 会員数
びわ湖八幡	51	1	1	51	48	5	2	4	85.33%	1
五箇荘能登川	18	0	0	18	17	1	0	4	88.80%	0
彦根	78	1	0	79	77	3	1	4	95.02%	2
彦根南	65	0	0	65	65	0	0	4	92.78%	0
湖南	39	0	0	39	39	0	0	4	92.86%	1
草津	41	2	0	43	39	4	0	4	90.97%	0
水口	50	0	1	49	49	1	1	4	90.82%	0
守山	50	0	0	50	50	0	0	3	90.28%	0
長浜	61	0	1	60	62	1	1	4	89.60%	0
長浜東	68	0	0	68	68	1	1	3	98.91%	0
大津	121	0	0	121	114	7	0	5	100.00%	0
大津中央	37	0	0	37	35	2	0	4	90.09%	2
大津東	25	0	0	25	24	1	0	3	74.99%	1
大津唐橋	28	0	0	28	26	2	0	3	92.59%	1
大津西	30	0	0	30	30	0	0	4	92.86%	0
近江八幡	65	2	0	67	64	3	0	5	94.00%	1
栗東	39	0	0	39	39	0	0	5	82.63%	2
滋賀湖北	25	0	0	25	23	2	0	4	94.00%	0
高島	40	0	0	40	39	1	0	4	95.67%	1
野洲	38	0	0	38	42	1	5	4	88.71%	1
東近江	54	0	0	54	52	4	2	3	76.67%	0
八日市南	57	0	0	57	57	1	1	5	87.00%	2
小計	1,080	6	3	1,083	1,059	40	14	平均 4.0	平均 90.21%	15

奈良県 (13クラブ)

クラブ名	10.31 会員数	入会	退会	11月 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会	出席率	女性 会員数
五條	44	0	0	44	43	2	1	4	95.67%	0
平城京	37	0	0	37	37	0	0	4	97.58%	0
生駒	37	1	1	37	37	1	1	5	88.00%	0
橿原	89	0	0	89	85	5	1	4	73.47%	3
あすか	54	0	1	53	54	0	1	4	96.73%	0
奈良	144	0	0	144	142	3	1	4	96.68%	3
奈良東	45	1	0	46	44	2	0	5	100.00%	0
奈良西	40	0	0	40	38	2	0	4	87.00%	0
奈良大宮	72	0	0	72	65	7	0	4	95.76%	0
王寺	31	0	0	31	30	1	0	4	94.70%	2
桜井	51	0	0	51	50	1	0	4	99.27%	0
大和郡山	51	0	0	51	50	1	0	4	98.61%	0
大和高田	98	0	0	98	96	2	0	4	88.10%	2
小計	793	2	2	793	771	27	5	平均 4.2	平均 93.20%	10

京都府 (42クラブ)

クラブ名	10.31 会員数	入会	退会	11月 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会	出席率	女性 会員数
綾部	49	0	0	49	50	0	1	3	87.67%	0
福知山	64	0	0	64	63	2	1	4	91.67%	0
福知山西南	54	4	0	58	54	5	1	4	97.56%	1
亀岡	42	0	0	42	42	1	1	4	100.00%	0
亀岡中央	20	1	0	21	21	1	1	3	96.67%	1
京都	201	0	0	201	198	7	4	5	97.33%	0
京都伏見	95	0	0	95	92	3	0	3	81.67%	3
京都平安	38	0	0	38	37	1	0	4	77.78%	3
京都東	105	0	1	104	104	3	3	3	98.48%	0
京都北東	34	0	0	34	32	3	1	4	88.33%	0
京都市陽	34	0	1	33	34	0	1	3	93.60%	0
京都桂川	32	0	0	32	32	0	0	4	90.63%	0
京都北	65	0	1	64	65	0	1	3	97.62%	0
京都南	219	1	0	220	214	9	3	4	92.54%	0
京都モーニング	51	0	1	50	50	1	1	4	84.62%	1
京都紫野	68	0	0	68	69	1	2	4	100.00%	0
京都中	42	0	0	42	40	2	0	4	100.00%	0
京都西	103	1	0	104	101	3	0	4	99.00%	0
京都西山	25	0	1	24	25	0	1	4	77.06%	0
京都乙訓	41	1	1	41	41	1	1	3	91.40%	0
京都洛中	90	0	0	90	89	2	1	4	100.00%	0
京都洛北	68	2	0	70	68	2	0	4	100.00%	0
京都洛南	40	0	0	40	39	1	0	4	96.43%	1
京都洛西	50	0	0	50	49	2	1	3	93.32%	3
京都洛東	39	0	0	39	39	0	0	4	88.46%	0
京都嵯峨野	27	0	0	27	27	0	0	4	77.00%	0
京都さくら	29	0	0	29	29	1	1	4	84.82%	3
京都西北	47	0	0	47	46	2	1	4	89.55%	0
京都西南	59	0	0	59	58	2	1	4	92.40%	6
京都紫竹	51	1	2	50	52	2	4	4	76.00%	2
京都朱雀	42	0	0	42	42	0	0	4	85.29%	0
京都田辺	25	0	0	25	25	0	0	4	83.70%	2
京都山科	84	0	0	84	81	4	1	4	98.21%	0
京都山城	43	0	0	43	43	1	1	5	99.31%	0
京都八幡	35	0	0	35	36	0	1	4	89.73%	0
舞鶴	34	0	0	34	31	4	1	5	92.38%	0
舞鶴東	55	0	0	55	53	2	0	4	80.88%	0
峰山	40	0	0	40	40	1	1	4	92.65%	2
宮津	54	0	0	54	54	0	0	4	91.67%	0
園部	33	0	0	33	33	0	0	4	94.83%	0
宇治	45	0	0	45	45	0	0	4	93.75%	0
宇治鳳凰	45	0	0	45	45	1	1	4	95.24%	5
小計	2,417	11	8	2,420	2,388	70	38	平均 3.9	平均 91.41%	33

合計 (96クラブ)

10.31 会員数	入会	退会	11月 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会	出席率	女性 会員数	
合計	5,295	23	19	5,299	5,204	176	79	平均 4.0	平均 89.80%	100

表作成にあたって

- ・会員数に、名誉会員は含まれておりません。
- ・入退会者数、11月会員数および入退会者累計数は、11月末日現在です。

ホームページで「絆」を深めよう

地区ホームページをご覧になっていますか？

ホームページを開くと、ガバナー事務所便り、クラブ便り、委員会便りのコーナー、が目に飛び込んできます。ここでは地区で行われている活動を、ロータリアンの皆様に迅速にお届けするよう、随時更新できる体制をとっております。また、記事についてのご意見や感想をすぐに反映できるブログ形式となっていますので、情報を得ながら交流することも可能です。ガバナーの公式訪問をはじめ各クラブの奉仕活動も、どんどん掲載しています。「委員会でごんことが決まった!」「うちはこんな活動をした!」「こんなエピソードがあった!」などありましたら、是非ロータリアンの皆様に広く伝えてください。ガバナー事務所まで原稿と写真をお寄せいただきましたら、すぐに掲載いたします。ホームページを通じて、さらなる「絆」を深めませんか。

原稿・写真は、ガバナー事務所
gov06-07@rid2650.gr.jp までお送りください。
お問い合わせは、地区副幹事長 砂山(ガバナー事務所 大西まで)



<http://www.rid2650.gr.jp/>

事務局・例会場 変更のお知らせ

- 宇治RC 新事務所 (1月~) 〒611-0021 京都府宇治市宇治妙楽24-1ミツダビル2F
TEL 0774-34-7600 FAX 0774-34-7611
- 新例会場 (1月~) 〒611-0021 京都府宇治市宇治樋ノ尻88 パルティール京都
TEL 0774-25-7777
- 宇治鳳凰RC 新事務所 (12/26~) 〒611-0021 宇治市宇治妙楽24-1ミツダビル2F
TEL 0774-34-7722 FAX 0774-34-7723
- 新例会場 (1/18~) 〒611-0021 宇治市宇治琵琶45-13 宇治市産業会館3F 大会議場
TEL 0774-23-3101



このたびは昨年度の会計報告をさせていただきます。今後ともロータリー文庫をご活用くださるようお願いいたします。

ロータリー文庫
2005~2006年度会計報告

(貸借対照表)		資産		負債	
現金	23,788	雇用保険料預り金	10,700		
普通預金	2,773,411	社会保険料預り金	175,690		
定期預金	10,000,000	未払金	1,348,095		
		負債合計	1,534,485		
		正味財産			
現預金合計	12,797,199	次期繰越剰余金	11,262,714		
合計	12,797,199	合計	12,797,199		

(収支計算書)			
収入		支出	
会費収入	30,144,150	委員会費	2,290,407
雑収入	1,426,295	業務費	2,556,494
		貸借管理費	10,209,722
		人件費	16,397,433
		予備費	3,771,810
当期合計	31,570,445	当期合計	35,225,866
前期繰越収支差額	14,918,135	当期収支差額	3,655,421
収入合計	46,488,580	次期繰越収支差額	11,262,714

ロータリー文庫 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=10:00~17:00 休館=土・日・祝祭日

逝去会員 謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。



渡辺 秀輝 氏
(鯖江北RC)
平成18年11月8日
享年62歳



熊谷 隆 氏
(京都東RC)
平成18年11月24日
享年65歳



高山 隆俊 氏
(長浜RC)
平成18年11月26日
享年6

“心に奉仕の理想を 唇に歌を”
2650地区男声合唱団“R・グリー”の活動

団長 山本 正道 (京都平安RC)
副団長(マネージャー) 小林 哲夫 (京都南RC)

ロータリー百周年を記念して2650地区では新しいロータリーの歌を地区内ロータリアンから公募し、集まった中から「新しい時代を生きるロータリー」(京都南RC小林哲夫氏作詞)が選ばれ、新進の女性シンガソングライター大奈(ダイナ)さんにより作曲され2005年4月10日の2650地区ロータリー100周年会員大会で発表されました。

これを合唱するため集められた2650地区ロータリー男声合唱団“R・グリー”はこの会員大会だけにとどまらずその後も活動を継続し今日に至っています。北は“天の橋立”から南は“飛鳥の里”まで、歌うことの大好き仲間が月一回日曜の夜の家族の団樂の時間を割いて集まり練習に励んでいます。

最初の100周年記念大会では新しいロータリーソングの発表の他懇親会でもオープニングのコーラスで楽しい雰囲気盛り上げました。更に地区大会・IMなど地区行事の他、第11回(長崎)・第12回(京都)・全国RC親睦合唱祭・また会員クラブの30周年記念チャリティーコンサート・日頃お世話になっているザ・パレスサイドホテルのロビーコンサートなど出演の機会に恵まれ、昨年のクリスマスには京都バプテスト病院老健センターへの慰問コンサート(写真)にも出掛け、ロータリー本来の奉仕活動も実施できました。

平均年齢65歳の在籍メンバー30名は指揮者の菊池敏子先生のパワーに引っ張られ、ピアノの橋本尚先生に後押しされて練習を重ね実力を磨いています。

毎月最終日曜日午後6時～8時 ザ・パレスサイドホテル京都で練習していますので、是非我はと思う人はご参加ください。

入団希望者連絡先は090-3999-6149(小林まで)

